

のみだより

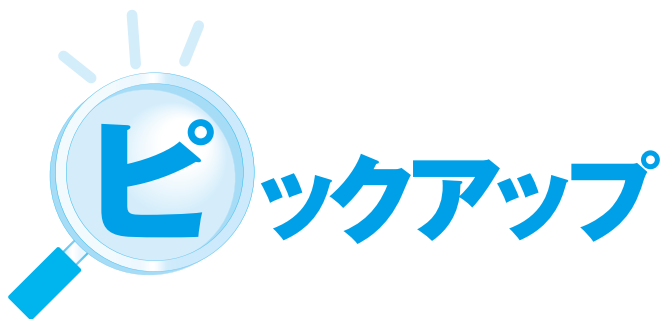
特集

「市民と議会との意見交換会」

「人手不足の実態を、市内企業とともに考える」

CONTENTS

定例会報告	P 2
予算決算常任委員会審査報告	P 3
討論・賛否一覧・意見書 他	P 4
所管事務調査報告	P 5
一般質問	P 6
政務活動費公開	P13
市民と議会との意見交換会	P14
議会日誌・議会日程・編集後記	P16



令和元年6月定例会

今定例会は、5月30日（木）から6月21日（金）までの23日間の会期で開かれました。市長から提出された議案16件及び報告6件についてはすべて可決・承認しました。

主な議案の内容は以下のとおりです。

※金額は、1万円未満を切り捨てて表示

●令和元年度能美市一般会計補正予算（第1号）

寺井地区都市再生整備計画事業費に 2億3,871万円を増額補正

令和元年度能美市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億9,800万円を追加し、予算の総額が226億9,800万円となりました。

寺井地区都市再生整備計画事業では、能美東西連絡道路【寺井まちなか工区】の事業の進捗を図るため、土地購入費、物件移転補償費、道路改良工事費、その他委託料として2億3,871万円を増額補正しました。

●能美市特別工業地区建築条例の一部を改正する条例

福島産業団地の環境保全・適正な土地利用を図るため、 産業団地内での業種の住み分けを明確にします

第六種特別工業地区では工業地域の用途地域に対し住宅、風俗施設、遊戯施設に加え店舗、飲食店の立地を規制し工業系に特化した土地利用を図る。

第七種・第八種特別工業地区では第六種特別工業地区に比べて、大規模な工場や危険性、環境を悪化させるおそれがある工場の規制を厳しくし、店舗や飲食店の立地も可能とする。

さらに優良な住宅地に極めて近い、第八種特別工業地区では、生活環境の保全を図るために第七種特別工業地区より工場等への規制をより厳しくしています。

能美市特別職の職員で非常勤 のものの報酬及び費用弁償に 関する条例の一部を改正する条例

総務

◎ 農業委員等の活動や成果はどのように判断するのか

- Ⓐ 活動の記録簿などをつけてもらい、活動内容を確認する。

財産の取得について (消防ポンプ自動車(CD-1型)購入)

◎ 現在根上分署に配備されている消防ポンプ自動車との違いは何か

- Ⓐ 現在配備されているものは水を積載できない。新規購入車両は水を1300リットル積載できるものである。

能美市公民館条例の一部を 改正する条例

教育福祉

◎ 能美市国際交流協会が使用する部屋の使用料を徴収するのか

- Ⓐ 使用料としてではなく、賃借料として徴収する方向で考えている。

委員会審査報告

市長から提出された議案等は、4つの常任委員会に付託し、より詳細な審査を行っています。主な審査内容は次のとおりです（予算決算の審査内容はP3に掲載）。

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	田中大佐久	仙台 謙三	杉田 隆一、倉元 正順 山下 毅
産業経済	米田 敏勝	田中策次郎	東 正幸、佐伯富美子 卯野 修三
教育福祉	山本 悟	北村 周士	近藤 啓子、居村 清二 嵐 昭夫、開道 昌信
予算決算	田中策次郎	嵐 昭夫	議長を除く全議員

能美市特別工業地区建築条例の 一部を改正する条例

産業経済

◎ 第七種、第八種特別工業地区に立地可能な店舗や飲食店の面積などに制限はあるのか

- Ⓐ 同地区においては1万平米を超える建築物の立地に対して制限を設けている。

◎ 店舗等立地の制限である1万平米以下には駐車場は含まれるのか

- Ⓐ 駐車場は床面積には含まれない。



「使い道」を厳しく審査

今定例会では、市長から提出された令和元年度補正予算に関する議案（1件）と平成30年度補正予算の専決処分に関する議案（6件）について審査が行われました。

議長を除いた全議員で構成する予算決算常任委員会全体会で慎重な審査を行ったほか、委員会を3つの分科会に分け、集中的に審査を行いました。

最終日の本会議で予算決算常任委員長から審査内容の報告があり、採決の結果、すべての議案が可決されました。

なお、主な審査内容は次のとおりです。

◆令和元年度一般会計補正予算

保育料電算システム改修事業

予算計上されている金額はシステム改修に係る全額なのか

10月から実施される幼児教育・保育の無償化に対応するため、全額保育料電算システム改修に係る委託料である。

寺井地区都市再生整備計画事業

当初予算になぜ計上しなかったのか

事業着手後に詳細設計を行っており、無電柱化のため北陸電力やN・T・T等と協議し決定した電線管等のルートで、一部上下水道管路の支障となるため移設が必要となった。

また、道路拡幅工事において、工事施工条件が商店や住宅街の中であることから、現状の2車線を確保し工事が進捗できるよう電柱の移設をすることとなったためである。

都市公園安全・安心対策事業

当初予算ではなく6月補正予算での対応とした理由は何か

優先度の高い施設を予算計上していたが、その施設の更新には別の財源を充てて実施することとなり、次に優先度が高い和光台2号公園の複合遊具を計上することとなった。

物見山運動公園施設整備事業

事業費を増額した理由は何か

物見山テニスコート2面ずつ2ヶ年で改修する予定であったが、使用禁止期間が2年続いたため、利用者の利便性等を考慮し、4面全面改修することとなった。



▲物見山テニスコート

◆平成30年度一般会計補正予算（専決補正）

障害者福祉費の心身障害者医療費助成事業

900万円を減額した理由は何か

この事業は県の補助対象事業であり、所得制限があることから、年間の利用者数が減ったことによる。

また、この補助事業に対象とならなかった方は市の単独、心身障害者医療費助成事業を利用している。

経営体育成事業や担い手確保・経営強化支援事業

利用が少ない理由と事業PR方法で昨年との違いは何か

全国の応募者との競合となるため、採択基準ポイントのボーダーラインが非常に高くなることなどが要因となっている。

PRについては農協と連携し説明を行っているほか、対象となる農業者の方へは個別に通知している。



—こんな理由で賛成・反対しました—

6月21日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。
討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。下記にその概要を掲載いたします。

●令和元年度能美市一般会計補正予算（第1号）

今回の補正予算に計上されている寺井地区都市再生整備計画において、2億3,871万円追加し、今年度の事業費を2億4,064万5,000円とするものです。

物件移転補償費1億1,666万2,000円の追加で合計は9億4,000万円となり、電柱の地中化事業に1,500万円、上下水道管の移設工事費に6,000万円と多額の投資です。

日本共産党は当初から、この東西連絡道路建設には反対ですが、今議会の追加補正によって事業総額は約30億5,500万円へと膨れ上がるものであり賛成できません。

反 対

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

賛 成

卯野 修三
議員
(大志)

今回の補正予算には、この10月から実施される幼児教育・保育の無償化に備えての、保育料の電算システムの改修や寺井地区都市再生整備計画事業で、能美東西連絡道路の寺井地区の中心部に位置する事業の期間の延長が認められたことから、事業の進捗を図るための事業費の増額が含まれています。都市公園施設の安全確保と機能の保全を図るための大型遊具の更新や、物見山テニスコートの人工芝が傷んでいることから、利用者の安全面に配慮し、全面改修するものも含まれています。いずれも適正な事業執行のために必要な補正であると認め賛同するものであります。

賛否が分かれた議案

○＝賛成、●＝反対、議長は採決に加わりません。

議 案 名	山下 毅	卯野 修三	佐伯 富美子	北村 周士	仙台 謙三	山本 悟	田中 大佐久	田中 策次郎	開道 昌信	嵐 昭夫	南山 修一	居村 清二	倉元 正順	米田 敏勝	東 正幸	近藤 啓子	杉田 隆一
能美市税条例等の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
能美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
能美市特別工業地区建築条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
令和元年度能美市一般会計補正予算（第1号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
専決処分の報告（能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。

「妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書」を可決

妊婦は診断が難しい疾患や合併症に見舞われる頻度が高く、胎児の発育に悪影響を与える医薬品もあり、診療には特別な注意が必要とされる。

妊婦が安心して医療を受けられる体制の構築を求めるため、令和元年第2回定例会において、次の3点の要望を盛り込んだ意見書が提出された。

- 1) 妊婦が安心して外来診療を受けられるよう、特有の合併症や疾患、投薬の注意などについて、医師の教育や研修の体制を整備すること。
- 2) 妊婦自身が、特有の合併症や疾患、投薬の注意などについて、予め知識を得ることができるようにすること。
- 3) 妊婦加算の見直しに当たっては、妊婦が加算分を自己負担することの影響にも十分配慮しつつ、開かれた国民的議論を行うこと。

令和元年第2回定例会最終日に全会一致で可決された同意書は、能美市議会議長名にて内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣へ送付された。

人口減少等対策特別委員会の廃止

人口減少等対策特別委員会は、平成30年第1回定例会において、人口減少対策を重要な課題として捉え、調査研究を行うため設置された。

同特別委員会は、市の各部署からの聞き取り調査を実施した。また近隣市の各施策との比較分析を行い、選定事業を評価した結果、市の施策は概ね近隣他市町の施策と内容的にも遜色がないことが確認された。

令和元年第2回定例会において、これまでの調査活動と併せて、同特別委員会設置時の目的が果たされたことから、人口減少等対策特別委員会の廃止を本会議に諮り、議決した。



所管事務調査報告

委員会は、議案や請願の審査を行うほかに、所管に属する事務について調査活動を行うことができます。能美市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを定め、委員会を通じて調査研究や意見交換などを行ってきました。定例会最終日に各委員長が所管事務調査の内容を報告しました。主な内容は次のとおりです。

教育福祉常任委員会

幼保連携型（民営化を含む）の認定こども園整備を

現在、市内の保育施設は15園あり、平成27年度に「保育所型認定こども園」に移行し運営されている。公立で全ての認定こども園を運営し、さらに、待機児童ゼロ、保育料を一部免除するなど、様々な施策を打ち出してきた能美市は「住みよさランキング全国第8位」（2019年）という結果においても評価されている。

一方、3歳未満の子どもの保育の需要が高まりを見せ、ゼロ歳児に限って言えば、平成20年度は市内のゼロ歳児に対する保育児童の割合が21.4%であったものが、平成30年度には64.2%にまで増加している。延長保育や早朝保育、休日保育の拡大など、子育て世代の保護者のニーズは確実に広がっているのが現状である。また、15園の認定こども園のうち7つの園舎が昭和40年代、60年代に建設されており、

福島保育園や緑が丘保育園は建設から40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。これらの課題を解決するためにも、国からの建設費や運営費補助が見込まれる認定こども園の民営化は必要なことと考えられ、それに関して、現在の保育水準の維持はもちろんのこと、保護者への理解、保育士などの積極的な正規職員化、園長や副園長のフリー化、民営化の対象とならない保育園に対しての老朽化対策、市の保育施設の基幹機能としての役割を担う公立園の維持や相互の連携や協力、「ふるさと愛」を育むための積極的な運営など10項目の提言を行った。

能美市の子どもたちが、健康やかに、たくましく成長できるように、市が一丸となって民営化、幼保連携型の認定こども園整備へ向けて舵を切るべきと考える。

人口減少等対策特別委員会

住みやすさを 実感できることが重要

近年顕著になっている人口減少の実態や中長期的な人口減少傾向は、能美市において重要な課題となっており、市議会としても、人口減少対策は重要な課題として捉え、平成30年第1回定例会において、人口減少等対策特別委員会を設置しました。

本特別委員会は、市の各部署から人口減少対策に係る関連事業の現状・課題、今後の運営方針のヒアリングを実施し、43の事業から15事業の抽出を行い、近隣市の各施策を比較分析し、基本的な10の視点と施策の方向性を選定しました。それらの選定事業を評価した結果、市の施策は概ね近隣他市町の施策と内容的にも遜色がないことが確認されました。また、先進的な取り組みを行う自治体の視察を行い、同じような施策に見えても地域の独自色（地域の強み）を埋め込むことに各市が

腐心していることを確認しました。

市の総合的政策の推進において、「少子高齢化が進んでも市民が安心して暮らせる持続可能なまちづくり」を目指し、人口減少が目に見える形で市民生活に影響してくるため、

1. 地域コミュニティの維持
2. 住みよい環境・安全安心なまちづくり・空き家・空き地対策
3. 外国人住民と地域住民の融和と共生

の3点について、今後重点的な調査が望まれるところである。

以上、人口減少等対策特別委員会の調査活動報告とし、市の重要な課題である人口減少対策についての調査、研究をする本特別委員会の設置目的は果たされたことから、人口減少等対策特別委員会を廃止することとする。



田中 大佐久 議員
大 志

平成から令和

Q 令和の時代、どのような能美市を創造するかを問う

A 「したいこと、能美市だったら叶うかも」が実感できる、美しいまちづくりに取り組んでいく。

はさかいき 端境期対策

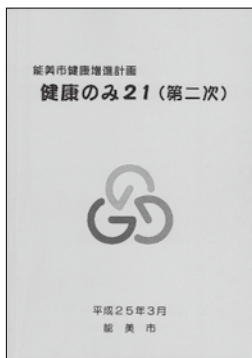
Q 平成28年度より、12月補正予算で対応しているのかを問う

A 繰越明許費とゼロ市債を合わせると、平成28年度は28件、29年度は19件、30年度は17件、平成30年度第3四半期より、発注見通しの統合・公表を実施している。

がん対策(乳がん・子宮頸がん)

Q がん対策推進条例(仮称)の制定を問う

A 健康のみ21(第二次)の計画に基づき、併せて市民・企業・医療機関等の意見を聞きながら検討する。



▲能美市健康増進計画
「健康のみ21(第二次)」

Q がんの罹患と食生活とは関連するが、取り組み状況を示せ

A 食生活改善推進協議会とともに地域の企業イベントに参加し、塩分の少ない食品や少ない塩分で調理できる献立等を紹介する普及活動を行っている。

Q 女性特有のがん、乳がん・子宮頸がん検診の受診率向上対策を示せ

A 医療機関検診の受診料金減額と節目年齢の方の受診料金無料化を継続していく。今年度は、不定期に受診されている関心度の高い方に個別に通知し、受診率の向上を目指す。

産後うつ病対策

Q 産後うつ病対策を示せ

A 育児不安の強い方に対し、保健師や助産婦の訪問。産後ケア事業など妊産婦の育児不安の解消を促すことで、育児に前向きになれるよう支援している。

一般質問



山下 毅 議員
大 志

能美市立病院の経営状況と改善策

Q 市立病院が経営悪化に陥った理由と状況について問う

A 経営が悪化した大きな原因として、慢性的な医師不足にある。以前は内科3名、整形外科4名のほか、11名の常勤医が在籍していたが、関係機関に働きかけてきたものの、現在は6名での診療体制となっている。

さらに、施設や設備の老朽化による修繕費の増高等、必要経費の抑制が難しいことも経営悪化の要因と言える。経営改善策として、病床の再編や診療報酬の加算などに取り組んでいるが、本格的な改善への道のりは遠く、険しいのが現状である。

Q 市立病院の経営改善及び地域医療等との連携について問う

A 市立病院は、長きにわたり地域住民の皆様とともに歩んできた市内唯一の公立病院であり、多くの市民や企業、近隣市町の住民にご利用いただいている。

病院経営にあたり、国からの交付税の基準に基づき一般会計から繰り入れているが、収益構造は好転せず、病床利用率も70%弱と低迷している。

このためにも、医師の確保が最重要課題であり、関係機関への積極的な働きかけを行うとともに、今後は、経営安定のため、医療・介護・福祉の専門家や学識経験者による検討会を立ち上げ、「病病連携」や「病診連携」の在り方を探りながら、地域病院としての経営の安定化を目指す。

消防力の充実強化

Q 屈折はしご付き消防自動車を導入することで、火災等災害対応に備えるべきではないか

A 消防力整備指針では、管轄区域内に中高層建築物が10棟以上ある場合は、1台以上配置することとなっている。

本市では、92棟あることから要件に該当することになるが、現在は、近隣の消防本部との消防相互応援協定により対応している。

はしご車導入に当たっては、消防活動上効果的な性能等を有する車両を選択し、国の支援や市の財源を考慮した上で検討する。



山本 悟 議員
大 志

認定こども園の今後の運営

Q 「子ども子育て認定こども園委員会」の設置の目的と具体的な協議事項を問う

A よりよい教育・保育の質の向上を図ることを目的に設置した。協議事項は、認定こども園の幼保連携型への移行に関する事、認定こども園の施設の老朽化に関する事、認定こども園の今後の方向性に関する事である。

Q この委員会での議論を踏まえ、公立で運営している保育所型認定こども園を、今後の様な方向でかじを切るのか問う

A 「能美市子どもの未来を考える認定こども園のあり方検討会」や「子ども子育て認定こども園委員会」の議論を踏まえ、子育て支援としての教育・保育のニーズに応えていくためにも、まずはモデル的に一つの園を民営化していく方向で調整を進めていきたいと考えている。

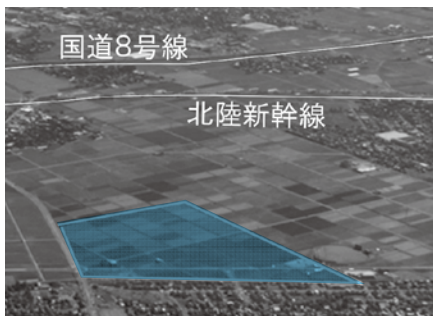
企業誘致

Q 福島町での産業団地造成にあたり、地域住民の生活環境に配慮が必要である。企業誘致の際のコンセプトを問う

A 造成にあたっては「農村地域工業等導入促進法」を活用し、幅広い業種の立地が可能な産業団地というコンセプトで整備を進めていく。

本産業団地は「福島しらかぎの里」に隣接していることから、「用途地域」や「特別用途地区」さらに「地区計画」といった都市計画の手法により、立地を誘導する建築物の用途や形態等に制限を設ける。

また、公害等の発生のおそれのない企業であることを含め、地域の住環境に配慮した企業の誘致に努めていきたい。



▲福島産業団地造成予定地

一般質問



田中 策次郎 議員
大 志

JDI人員削減

Q JDIへの市内勤務者やJOLEDへの影響を問う

A 石川工場や白山工場には能美市在住の方も勤務しており、大変憂慮している。JOLEDの整備計画には影響はないと聞いている。今後も企業側や県当局等と連携を密にして情報収集に努め、必要な対策を講じる。

ボランティアの若手育成

Q 市施策の中で多くのボランティア活動が活かされている。今後、ボランティアの高齢化による活動の縮小のため、市の事業にも影響があると考え。若手育成について市の見解を問う

A 第3次能美市地域福祉計画で、地域における自発的な行動につながる人づくりを目指し、若い世代の育成に取り組むこととしている。若い方に関心を持ってもらえるよう、情報の流し方や事例を紹介するなど検討していきたい。

ボランティアグループ支援

Q 課題を抱えるボランティアグループが継続し活動できるように、市が調査し解決を図れないか

A 今後、ボランティアグループが継続して活動できるようにボランティア活動コミュニティセンターを充実し、市全体で課題等の情報を共有しバックアップできる体制の整備を検討する。

介助者の「のみバス」を無料に

Q 地域で支えあう時代に向け、高齢者や障がい者の方が気軽に外出できるよう介助者の「のみバス」利用を無料にできないか

A 市内の移動は「のみバス」の有効利用と維持を図りながら、多様な交通手段を利用する暮らしの有り方を創造し支援していく。公益性や活性化負担の公平性に留意し、実態を把握し必要性を見極めていきたい。



▲能美市民ボランティアフェスティバルの様子



卯野 修三 議員
大 志

屋内交流施設

Q 子どもの屋内交流施設を検討せよ

A 本市の児童福祉施設は、それぞれ特徴をもち、好評であり、新たな全天候型屋内交流施設の建設は財政的に厳しい。

移住定住

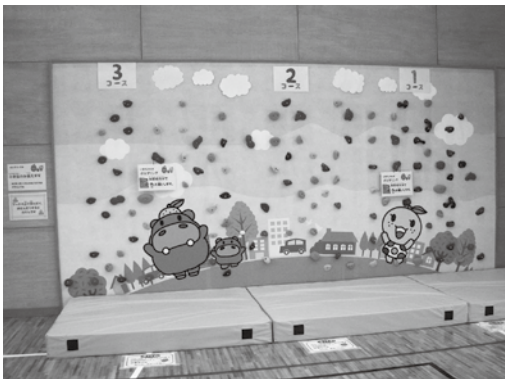
Q 2015年以降の移住者数とI・LACとの連携は

A 移住定住補助制度を活用して、能美市に移住した方は、2018年度までの合計で374世帯1,127人です。I・LACからの問い合わせ窓口を一本化して相談体制を構築している。

Q 県が就職協定を締結している32の大学との連携は

A 能美市の企業を含めた県内企業との意見交換会の開始や、I・LACを通じてイベント情報発信をしている。

※I・LAC：いしかわ就職・定住総合サポートセンター



▲辰口中央児童館・体育館

Q ふるさと愛を醸成する教育は

A 小・中学校では市内の教育資源を活かしたふるさと学習を推進し、県立の寺井高校とは、市と連携した取り組みを推進している。

農地転用と優良田園住宅制度

Q 過去5年間の農地転用数とその内容

A 合計412件で、住宅用地が265件で全体の64%を占めている。

Q 今後の能美市の農地転用に向けた考え方は

A 農地法の趣旨に従い、農業上、生産性の低い農地から順に転用し、優良農地を確保していきたい。

※優良田園住宅制度：定住の促進や地域との交流促進するため平成10年度に創設された

一般質問



東 正幸 議員

シティプロモーションによる能美市のブランド化

Q 一般市民の方にはあまり馴染みの薄い、聞きなれない言葉でないかと思う。行政におけるプロモーションの言葉に持つ意味と抱負を問う

A 自治体が行うものとして地域のイメージ向上、ブランド化の確立を行う宣伝、広報、市内外への売り込み、地域再生、観光振興、住民協働などの概念があり、自治体間の競争に負けない未来を築くための活動と捉えている。抱負として、情報発信活動を強化し、市のファンや人口の増加を図り、市の知名度とイメージの向上に努める。

Q 公共サイン整備事業において、既存の町会サインや施設サイン、ビッグサイン等の活用方法について問う

A 公共サインのデザインが統一されていない状況であり、基本デザインや表示基準、配置方針

など、サインの統一を行うガイドライン策定を目的としている。また、多言語化対応標記についても検討をしている。既存のサイン看板については、老朽化により一部劣化が見られ当該検討委員会において総合的に判断をしていきたい。

Q ご当地ポスト設置事業の波及効果は

A 九谷焼の丸皿を市内郵便局のポスト上部に設置する。作品については、伝統工芸と市の最先端技術のコラボにより、「ものづくりのまち」をPRしていく。また、郵便局と連携して加賀エリアでのスタンプラリーを行うことで相乗効果も期待する。



▲三ツ口町に設置されているオブジェ



米田 敏勝 議員
保守清流

認知症予防

Q 高齢者の認知症の発症を遅らせ、予防や社会保障費の抑制につながるニュースポーツの推奨に取り組め

A ニュースポーツは気軽にいつでも、どこでも、誰でも楽しむことを目的としたスポーツで、何百種類あるとも言われており、健康づくり推進員の研修会においてもニュースポーツの紹介を行うなど、健康づくりの一環として関連部局と連携を密にし、普及、PRに努めていきたい。

Q 大会への参加普及を促すため、ポイント制の導入を図れ

A 市の制度として、個人の活動量を高める「貯筋通帳」の事業を展開しております。認知症の発症を遅らせ、予防など健康を意識してもらうために現行のポイント制度の魅力を高めるよう努めていきたい。

トイレの洋式化

Q 屋外スポーツ施設での選手や応援する人達、また、高齢者や障がい者が快適にトイレを利用できる洋式化を含めた整備を図れ

A 今後、屋外スポーツ施設での利用者数、利用頻度などを考慮し、計画的に屋外体育施設のトイレの洋式化も含め、スポーツ施設の整備を進めていきたい。



▲ニュースポーツの1つ、カローリングの講習会

一般質問



嵐 昭夫 議員
市 民

希望ある幸齢社会

Q 少子高齢化は今後益々進む人材不足が深刻となる。希望ある幸齢社会に向けて、誰もが担い手になって支えあう地域づくりや、地域力強化、強い互助力をどのように構築していくかについて問う

A 超高齢化社会を色に例えると、ブラックや灰色ではなく、希望に満ちた色、例えば虹色と表現することができ。虹は一色ではなく七色が集まったの輝きである社会もいろいろな分野が連携することで輝くことができる。一人一人が自分色に輝ける地域社会にしていきたい。

多くの元気な高齢者が生き活きと活動できるための介護予防や生活支援や地域医療と介護の充実が重要です。関係課の連携を強化、地域の互助づくりを推進していきたい。

認知症予防・フレイル予防

Q 認知症予防対策や生活習慣病予防対策は健康寿命の延伸に

重要。また、フレイル予防の取り組みも重要、市民サポーター等の取り組みについて問う

A 地域力推進構築事業において、身近な通いの場を拡充しており、多くの方が参加できる体制を整備している。また、地域リハビリテーション活動支援事業において、専門職支援を充実していく。フレイルチェックは、あんしん相談センター職員が各地域で開催の通いの場に出向き、基本チェックリストを活用し早期に把握し、介護予防事業につなげている。市民サポーターらが介護予防や脳トレを実践できる体制に向け、我が事丸ごとの推進事業で支援を強化させていきたい。

水道管の耐震化

Q 水道管の耐震化・老朽管の更新工事について問う

A 水道管の総延長は約437kmで、耐震化適合率は6.6%となっており、防災上の重要管路の延長が約59km、耐震化適合率は20.1%です。本年度は、1,265mの配水管改良工事を予定しており、完了によりまして全体の適合率は6.8%、防災上の重要道路では20.5%に向上することになる。

※フレイル：年齢に伴って筋力や心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下した病態



開道 昌信 議員
大 志

能美市の自殺対策

Q 今回策定された「能美市自殺対策行動計画」その基本方針位置づけ、目的、取り組みを問う

A 当市では平成24年に自殺防止対策指針を策定し、自殺防止に努めてきたが、ここ9年間の自殺者数は88人を数え、国や県との人口10万人にしめる自殺者数の比較においても高い状況にある。

今回の計画は、第2次能美市総合計画の健康・福祉分野の基本方針である「健康に、幸せな人生を送ることができる能美づくり」に位置づけ、全ての市民が自殺に追い込まれることのない地域社会の実現に向けた施策や事業を着実に実行していく事を目的としている。

市の統計データの状況分析から、当市では中高年層者、子ども・若者、生活困窮者への重点的な取り組みが必要だと捉えている。

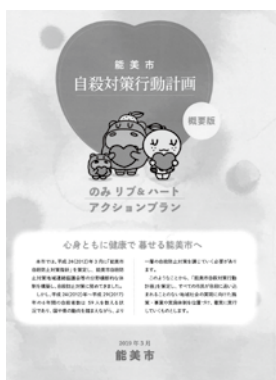
各関係機関と連携強化を図り、自殺に追い込まれることのない地域社会実現に向け、総合的に取り組んで行きたい。

Q 厚生労働省の人口動態統計によれば、10歳から14歳の死因が自殺1位となった。小中学校での自殺対策が急務では

A 学校教育の目標は、生きる力を育むことである。これを踏まえ知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成を目指している。現在、自殺予防に向けて、ストレスや不安、悩みがあるときの対処方法を学習すると同時に周りに助けを求める「SOSの出し方」、また悩んでいる友達の感情を受け止め、優しく話を聞く「SOSの受け方」の教育を実施している。

また、個々の考え方や良さを認め合う授業や下級生が上級生への信頼感を増やす縦割り活動など、自己肯定感を高め、居場所が感じられる活動を意図的に取り入れている。

学校が魅力的で生き生きできる場であれば、子どもたちは喜んで登校し、生きる力を身につけていく。そんな魅力にあふれた学校づくりに努めていきたい。



▲能美市自殺対策行動計画

一般質問



北村 周士 議員
大 志

教育センターの運営

Q センターによる送迎はできないか

A まずは本人（児童生徒）の気持ちを持ち、第一に、先行実施している自治体の取り組みを調べ、参考にしていきたい。

Q 給食の提供はできないか

A 食材の準備等に影響があるため、食数の確定が難しい「ふれあい教室」での給食対応は難しいと考えている。

SDGsの推進

Q 本年度の取り組みは

A 本年度、総合計画の見直しの年次を迎えており、SDGsの指標を活用し、能美市の将来構想にふさわしい目標設定や施策立案ができないか検証しながら、持続可能なまちづくりに反映させていきたい。北陸先端大や市商工会、同青年部などと連携を取りながら、

本市の魅力度や認知度向上に向け、最終的な目標としての移住・定住の促進につなげていきたい。

能美市の「山づくり」

Q 銅谷一和佐谷林道の活用は

A 林道は高低差のある山林に整備されており、眺望を楽しむ名所として、観光スポットとして活用されている例も多い。一方で、当該地はガードレールなどの安全設備がない箇所もあり、自転車やバイクの走行に対しての安全性も十分とは言えないため、他自治体の例も参考にしていきたい。

Q 観音山への案内板設置について

A 美しく発展している能美市の姿を実感できる場所と言える。説明板の設置について地元や市民団体と相談しながら検討していきたい。第二次観光アクションプランでも里山地域への来訪者を増やすことを目的に、里山ツーリズムの推進を盛り込んでおり、その交流人口の拡大につなげていきたい。



▲SDGs指標





仙台 謙三 議員
公明党

安全運転サポート車

Q 高齢者の自動車事故防止の一助として、「安全運転サポート車」への乗り換え補助を行え

A 県の補助制度の利用者数は、県内で500人を超え、市内では23人であった。この制度は昨年度で終了したが、今年度は乗車体験などを行う相談会を数多く行い、サポート車のさらなる普及を図る。市独自の補助事業の実施は考えていない。

自転車保険の加入促進

Q 保険加入促進の取り組み状況を問う

A 市内の中学校では、1年毎に、自転車保険への加入を全生徒に周知しており、高い割合で加入していると思われる。高校生や一般の方の加入状況は分からない。

保険加入を促進する取り組みについては、県、県交通安全推進協議会が作成したチラシやポスターを使い、周知・啓発を行っている。

能美市の魅力探訪ルート

Q 歩いて、また「のみバス」を利用して、能美市の魅力を感じる取り組みを、広く市民からルート案を募りながら行え。トイレなどの環境整備も行え

A より多くの魅力的なルート設定が必要であり、様々な視点から多くのアイデアを得るためにも、市民などからの募集も手段の一つとして検討したい。また、観光地を巡る「のみバス」の運行も考えている。

トイレなどの環境整備は、まずは既存施設を活用し、利用者の需要を見極めながら考える。※ピクトグラムや多言語での案内看板の設置などについては、QRコードやGPS機能の活用をするなど、観光客にとって便利で優しい環境整備を考えていく。



▲能美市観光ガイドブック



※ピクトグラム：視覚記号の一つ。非常口やトイレなどに使われている、目につきやすい図記号

一般質問

水道事業経営戦略



近藤 啓子 議員
日本共産党

Q 能美市の水道事業は、広域化や官民連携方式はなじまないのではないか

A 人口減による水需要の減少、水道施設の老朽化、水道管理の人材不足等の課題に対して、水道法の改正により、基盤の強化を図ることとなった。

周辺市町の動向を踏まえ、能美市の理想的事業の形態を検討する。

Q 水道事業経営戦略（2018～2027年）において耐震化はどう強化されるか

A 水道事業者に課せられた使命は、自然災害等による被災を最小限にとどめ、安全で安定した水を供給することである。

耐震率は配水池では17か所まで43.3%、送水・配水管ポンプ場の最重要の施設では56%となっている。水道管路の耐震化は幹線管路や防災上の重要管路を優先的に行う。

2026年度末において、全管路の耐震化適合率は9.6%、配水池

耐震施設は51%を目指す。

Q 「公共の福祉」の視点から水道料金の引き下げをすべきだ

A 水道事業の健全な経営ができてこそ、福祉としての安全で安心な水道水を安定的に供給できると考える。

栗生特定公共賃貸住宅管理

Q 入居率3割の栗生特定公共賃貸住宅の改善対策を問う

A 家賃の見直し、子育て世帯への減免措置、パンフレットの作成を行っているが、入居率の改善が見られていない。リニューアルを含め検討していく。



▲配水管改良工事



居村 清二 議員

能美市東西連絡道路の全線開通

Q 寺井まちなか区間（0.45 km）は工事中であるが開通はいつか

A 用地交渉・建物移転と無電柱化の工事を行っており、現在も交渉中の部分があり、来年度中の完成を目指している。

Q 下ノ江・中ノ江区間（1.5 km）は先に完成している。下ノ江以西との連結として重要であり、

A 高堂町の県道拡幅の整備を優先している。これまで、道路設計や測量を進め、用地交渉中であり、完成には相当の年月を要する。

Q 湯谷町交差点から、泉台町へ0.3 kmの区間は歩道が整備されておらず、通学路として危険。進捗状況と開通はいつか

A 石川県街路事業として着手中。道路の設計や用地測量が進行中であり、現時点の完成時期は未定である。



▲能美市東西連絡道路

Q 寺井南交差点から寺井小学校を通り、末信町の区間の進捗状況と完成はいつか

A 県当局へ要望中。先の2区間が事業中であり、早期着手は困難な状況である。しかし、交通量の増加や児童の安全確保のため、早期整備を要望していく。

Q 泉台町から加賀産業道路和気交差点の区間の進捗状況と全線開通の見通しはいつか

A 本区間のルート自体が未定であり、来年度から調査・計画に入りたい。全線開通については、それぞれの区間の完成が見通せず回答は非常に困難である。

一般質問



佐伯 富美子 議員
日本共産党

合葬墓の建設

Q 核家族の進展に伴い、家族の負担を軽減する新形式の合葬墓を望む市民の声の高まりがある合葬墓建設の予定は

A 能美市が誕生して14年余り経過し、総人口も2,400人増加している。今回実施するアンケートの結果を踏まえ、住民ニーズを十分把握したうえで、合葬式墓地の整備を行うかなど、新たな墓地の在り方を検討していく。

補聴器の助成

Q 加齢性難聴は、認知症のリスクを高めることが明らかになっている。軽度・中度の難聴者にも補聴器助成を行え

A 難聴が認知症の発症を高める危険因子であることは承知している。高度・重度難聴者には、補助制度はあるが、軽度・中度難聴者に対しては、全国市長会議において、対象範囲の拡大を提言しているの、注視していきたい。

学校給食の無償化

Q 子どもの貧困には、命をおびやかす絶対的貧困と目に見えない相対的貧困がある。能美市の子どもの貧困率はどうなっているか

A 能美市子ども・若者生活アンケート調査の結果、相対的貧困率は5.5%であった。国民生活基礎調査の13.9%と比較して貧困率は下回っている。一人親家庭の貧困率は把握できていない。

Q 就学援助は受けにくいという声がある。給食費を無償にすることで、子育て世代を応援すべき

A 就学援助制度は、保護者からの請求で行う。安心して手続きの無償化は考えていない。





杉田 隆一 議員

森喜朗元内閣総理大臣の銅像建立

Q 能美市が生んだ偉大な政治家である、森喜朗元内閣総理大臣を顕彰し、その功績を称える銅像建立についての考えを問う

A 森喜朗元内閣総理大臣は、日本を代表する政治家であるとともに、国や石川県、そして出身地であるこの能美市に多大な貢献をしてきた。常日頃から住民との触れ合いを非常に大切にされ、絶えず地域が直面する課題の解決に向け献身的に取り組まれるとともに、類いまれなるリーダーシップにより、国政の場でも反映してきた。

また、県内及び市内への企業誘致や社会インフラを初めとした各種公共施設の整備、また、金沢大学の総合移転や北陸先端大の創立など、多くの分野で地元の発展に尽力されてきた。

これらの功績が称えられ、平成25年3月には名誉県民の称号を、同年4月には、能美市で第1号となる名誉市民の称号を贈呈している。

る。平成29年には、春の叙勲で桐花大綬章を受章された。

昭和、平成と激動の時代に国政に身をささげてきた森氏の多大な功績は、能美市民の誇りであるとともに、郷土の誇りとして令和の時代に脈々と受け継がれていくことは、大変すばらしいことである。

現在、森氏は、今年の秋にアジアで初めて開催されるラグビーワールドカップ2019組織委員会の副会長として、また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の会長として、それぞれの大会の成功に向け、日々公務に邁進されている。

銅像の建立については、気運の高まりが大変重要であり、全国的な例を見ても、有志の方々によるものになるうかと思いますので、今後、市民の意見や動向を注視していきたい。



▲市民第1号となる名誉市民の称号を贈呈される森喜朗元内閣総理大臣

一般質問

政務活動費の収支報告書をホームページで公開しています

～ 領収書や視察報告書等は議会事務局で閲覧できます ～

政務活動費は、市政に関する調査研究やその他の活動に充てるために必要な経費の一部として、議員個人に対して月額5万円が交付されます。

政務活動費の透明性を高めるため、平成29年7月から収支報告書を市ホームページに掲載。今年7月からは、平成30年度分の収支報告書を新たに掲載しました。

また、領収書やその他の証拠書類（視察報告書等）は、議会事務局でどなたでも閲覧できます。



●収支報告書や領収書等の閲覧制度

閲覧場所 能美市役所 3 階 議会事務局

閲覧可能日時 市役所開庁日の午前8時30分から午後5時15分まで

ホームページ <https://www.city.nomi.ishikawa.jp>

市民と × 議会との 意見交換会

5月13日(月)、市内で事業を営む代表の方と意見交換会を行いました。幅広い分野において、人手不足が深刻化している現状や課題、行政に希望する支援策などを語っていただきました。



ご参加いただいた方々(敬称略)

セブンイレブン 能美辰口店	代表	木津 達也
㈲スローライフケア/和楽	取締役社長	松山 和弘
たがわ龍泉閣	専務取締役	田川 陽一
ファーマケア(株)/ふたば薬局	代表取締役社長	染谷 政光
㈲法利工作所	代表取締役	法利 直孝
㈱徳久屋	代表取締役	徳久 智和

能美市のことを知らない学生が多いんです。

まず能美市の魅力を説明するところからスタートしています。

Q 人手不足に悩んでいますか

■私たちの業界は24時間営業なので、求人しても集まらないというのが現状で、北陸先端大等に外国人の方もおいでになるんですけども、まったく足りていないんです。どうしても9時〜17時の土日が休みというところに人材が集まる中で、かなり厳しい状態です。

■昨年の秋、社員が1年間、産休・育休に入りました。その補充を探すのに大変苦労しました。補充はしたんですけども、女性が主体ですから、出産・育児と、そういうときに代替の職員を確保するというのが、大変な状況であります。介護福祉士という資格を取得する学校に通う入学者も減ってきて、最近では定員に対して4割程度まで入学者数が

減ってきているというのが現状です。

■薬剤師自体は、国家試験がありますので、数は増えてきてはいます。でも、合格者の人数は少し減ってきています。大学のほうも今、薬学部は6年制なんですけれども、結構定員割れしている大学も増えてきています。

また、薬剤師は首都圏に集中していて、

東京、大阪の大学に集中しています。

■一番人手不足が出ているところが、仲居さん、接遇のスタッフです。5年前ぐらいから地元の高校生を求人採用したんですが、その後、求人を出してもまったく入ってこなくなったことと、ペテランの仲居さんがどんどん減ってきています。今現在、外国人の方はアルバイト



▲意見交換会は、能美市ふれあいプラザで行われました。出された意見や要望は、市政に反映できるように努めていきます

トで台湾の方が1人いるんですけれども、とにかく人手が足りない現状です。

Q 人手不足に対し現在どのように取り組んでいますか

■ここ数年取り組んでみようと思っているのが、求人会社のホームページにページを作ったり、会社説明会に参加したりということですがお金がすごくかかるので、なかなかできないんです。そうすると大手の企業は資金力があるので、差ができてしまいます。

また、大学の薬学部企業説明会にも参加させてもらったんですが、参加してみると、知名度が全くない、それよりも驚いたのは能美市のことを知らない学生が多いんです。企業説明会で、まず能美市の魅力を説明するところからスタートしています。

■私のところは、女性が主体の職場であり、日中しかやっていないので、定時に終了するということを目指し、残業は年間あっても数時間程度です。この4月から有給取得の問題も発生しているんですが、それも何とか取得はしていただいています。それよりも私は、離職率をどう下げていくのか。県内の介護のほうは、14%と言っていました。14%というのは全国平均よりも低いらいんですけれども、人手不足の大きな一つの要因には、たぶん離職者が多いというのも一つある

のかと考えています。もちろん新しい人の採用の部分もあるんですけども、いかに離職者を減らしていくかが課題です。

■今、働き方改革と言われる中で、弊社といたしましても自動化を進めています。それと女性活用です。50%が女性で、簡単な仕事もやりますし、自動化した機械を使って、自動で動いているあいだはほかの仕事に着手するという形を少しずつ進めています。ベトナム人実習生も1人受け入れており、本当に1からという形になり時間が掛かってしまうけれど、頑張ってるほいと思っています。

Q 行政に希望する支援策はありますか また、独自で何か考えていることはありますか

■大学でよそへ出て行ってもいいんですが、帰ってきたような支援策や、能美市の魅力づくり、能美で働くという気持ちになる支援策をお願いしたいです。

また、定年を一律に決めるのではなく、その方が元気でやれるのならばやってもらえたいと思うんです。65歳で元気なのに駄目と言ってしまったら、せっかくいい人材でも、お互いにプラスにならないと思うのです。今までの経験を生かし、能美市の若い子のためにもっと頑張る

うと、手を挙げてくださったらいいと思います。

■最近はいろんな外国人の方を、接遇スタッフとしている旅館も増えているので、今後北陸先端大さんと連携して、充実した人員配置になればいいと思っています。

■従業員と毎月面談をしています。私生活のこととか、健康管理とか、ちゃんと食べているか、飲みすぎるのかなとか、そういった仕事以外のことも話すようになり、長く時間を取っているんですけども、そういったものを月1回行っています。

また、離職については、給料、休みのほかに福利厚生を見る人材が多いと聞いていますので、その辺を考えていきたい。

■基本的にはコミックを担当している方とか、文庫本を担当している方、絵本を担当している方が別々にいらっしゃるんですけども、その方々にこうしなさい、ああしなさいとか、ああしてほしいとかということは一切言わず、自分のしたいことをしてくださいというふうに私は言っているんです。

パートさんの有給休暇というものも制度ができましたので、そのことも考えていかなければいけない。もっと働きやすい環境づくりをしていかなければいけないですね。

こんな活動しています

総務…総務常任委員会
 産経…産業経済常任委員会
 教福…教育福祉常任委員会
 議運…議会運営委員会
 全協…議会全員協議会
 広報…広報特別委員会
 基地…基地対策特別委員会
 基本…議会基本条例等検証特別委員会
 人口…人口減少等対策特別委員会

4月

8日 全協(新体制報告)
 広報(意見交換)
 9日 総務(各課報告)
 人口(報告内容)
 10日 教福(各課報告)
 広報(議会だより62号の編集)
 11日 産経(各課報告)
 12日 基本(定数と報酬)
 15日 広報(議会だより62号の再編集)

30日 議運(議事日程)
 全協(〃)
 本会議(開会、議案上程、提案理由説明)

6月

4日 議運(議事日程)
 全協(〃)
 6日 本会議(一般質問)
 7日 本会議(一般質問、質疑、委員会付託)
 13日 予算決算常任委員会全体会
 総務、予算決算総務分科会(付託案件の審査)
 14日 産経、予算決算産経分科会(〃)
 17日 教福、予算決算教福分科会(〃)
 20日 予算決算常任委員会全体会
 議運(第3回定例会会期日程他)
 21日 議運(議事日程)
 全協(〃)
 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)
 広報(議会だより63号のレイアウト案)
 25日 基本(定数と報酬)

5月

7日 総務(各課報告)
 基本(定数と報酬)
 人口(報告内容)
 8日 教福(各課報告)
 9日 産経(〃)
 13日 視察受入(宗像市:子育て支援)
 23日 議運(第2回定例会会期日程)
 全協(〃)

本会議の録画映像を
HPで配信しています

能美市議会映像配信

検索

令和元年

9月定例会のお知らせ (会期日程:9月2日～9月20日)

皆さまお気軽に傍聴に
お越しください

●9月2日(月) 提案理由説明
 ●9月9日(月) 一般質問
 ●9月10日(火) 一般質問
 ●9月20日(金) 委員長報告
 討論、採決

ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

〒923-1297 能美市来丸町 1110 番地
能美市議会事務局
 TEL: (0761)58-2240
 FAX: (0761)58-2295
 E-mail: gikai@city.nomi.lg.jp

編集後記

今回の議会だよりでは、6月定例会における議案審議や一般質問などのほか、人手不足の現状とその対策についての意見交換会の模様を掲載しました。

人手不足が新聞やテレビなどのメディアでも報道されているところであり、関心も高いのではないかと感じます。しかし、その実態についてはどうなのでしょう。そこで市内の企業や店舗の代表の方々にお集まりを頂き、議

会産業経済常任委員会との意見交換を行いました。改めて、この場をお借りして、ご協力を頂いた関係者の方々に深く感謝申し上げます。

これからも、皆さま方のご意見を伺いながら、また、議会活動についても、より分かりやすくお伝えして参ります。

(仙台謙三)

広報特別委員会 委員長: 仙台 謙三 副委員長: 北村 周士 委員: 開道 昌信、田中策次郎、佐伯富美子、卯野 修三、山下 毅